

5 階病棟へ入院した患者さんへ

研究に関するご理解・ご協力のお願い

練馬総合病院では、以下の臨床研究を実施しています。本研究は通常の診療で得られた記録を調べるもので、本研究に参加することによる患者さんへの新たなご負担は一切ありません。この案内をお読みになり、ご自身が本研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問があります場合、または本研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問があります場合、または本研究に「ご自身の診療情報を使ってほしくない」と思われる場合は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いいたします。

【対象となられる方】

2021年5月1日～2024年6月16日までの間に練馬総合病院の内科で5階病棟に入院された方

【研究課題目】

多職種連携退院支援カンファレンス実施の効果の検討、誤嚥性肺炎患者に対する入院期間の比較

【研究責任者】

練馬総合病院 看護部 前田素美

【目的】

当院では昨年度より多職種による退院支援カンファレンスを行っています。昨年度は多職種連携退院支援カンファレンス実施による入院期間の変化について看護研究を行い、結果として多職種退院支援カンファレンス導入により、入院期間の有意差は医療処置の中で吸引が必要な患者に対してのみに見られました。本年度は誤嚥性肺炎に焦点を当て、入院前後の退院先の比較をデータとして抽出し今後の退院支援への課題を見出し、良い退院支援が行えるようにすることが研究の目的です。

【利用するカルテ情報・資料】

年齢、性別、病名、既往歴 等

【研究期間】

当院倫理委員会承認後より、2026年3月31日までの予定です。

【個人情報の取り扱い】

本研究で収集する診療情報は「個人情報管理者」（前田素美）が責任をもって匿名化（どの患者さんの情報であるか直ちに判別できないように加工又は管理されたもの）データとしたうえで解析を行います。患者さん個人と匿名化データを結びつける「対応表」は、当院内の鍵のかかる場所で厳重に保

管・管理し院外への持ち出しは行いません。本研究の結果は学会において公表することを予定しておりますが、その際にも、個人の特特定ができないように十分配慮した形で行います。また、本研究のデータは、研究終了後に匿名のまま廃棄します。

【問い合わせ先】

ご自身の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合や、途中で研究の対象から除外して欲しいとのご希望があります場合は、研究対象とは致しませんので、遠慮なくお申し出ください。ご協力いただけない場合でも、患者さんご自身やその家族様が怪我の治療を受ける際に不利益を受けることはありません。本研究に関して、ご質問、お問い合わせの際、またはご自身の診療情報について開示・訂正のご希望がある場合は下記連絡先までお問合せ下さい。

連絡先

練馬総合病院 看護部 前田素美 (研究責任者・個人情報管理者)

〒176-8530 東京都練馬区旭丘 1-24-1

電話：03-5988-2200 (代表) FAX：03-5988-2250